



# 学校だより

(5月号)平成28年4月28日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

◎ 夢 (ゆめ) に向かって ともに学びあう学校

- ・進んで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 ・進んでそうじをしよう

## さくら草

校長 清水 肇

新開小学校の校歌の一節に「♪ ふるさとの花 さくら草 ♪」があります。この地域はかつて「サクラソウ」が群生していたとのことです。その後、大規模な開墾や河川敷の開発によって、ほとんどが消滅してしまったそうです。その意味で、「田島ヶ原のサクラソウ自生地」はたいへん貴重といえます。昭和27年には国の特別天然記念物に指定（国内唯一）されました。

朝の登校指導で学区内を歩いていると、玄関先にサクラソウの鉢植えを飾っているお宅をよく見かけます。ちょうど今の時季、かわいく清楚な花を咲かせています。私の知る限り、このような地区はあまりないように思います。校歌にあるように、サクラソウが地域の皆様に愛されていることを強く感じます。

本校では、毎年4年生が4月に「田島ヶ原のサクラソウ自生地」見学します。今年も4月18日（月）に見学を行いました。当日は、「田島ヶ原サクラソウ自生地を守る会」の方々の説明を聞き、サクラソウの観察をしました。どの子も意欲的に活動していました。（右写真はその時の様子です。）



2月には、地域の方々を講師として、「根分け」をしています。サクラソウを育てる活動を通して、地域の環境を守る大切さを知るとともに、自ら進んで環境に働きかける意欲や態度を身に付けていきます。この活動が何年続いているか定かではありませんが、私が勤務した平成10年にはすでに行われていて、4年生担任の時に「根分け」も初体験をしました。この地域に住む、少なくとも1000人以上がサクラソウを栽培したことになります。新開小学校の子どもでなければ、このような学習はできないのではないのでしょうか。まさに地域に根差した素晴らしい学習だと思います。この先もずっと続けていきたいと考えています。

19日から、1年生の給食が始まりました。初日は、担任と補助の教員が、3時間目の途中から手順を1つ1つ確認しながら準備を行いました。保育園や幼稚園で給食を経験している子どももいますが、学校では基本的に子どもたちで全て準備を行うことから、時間をかけて丁寧に指導します。

このように1年生は、学校生活の様々な場面で初めての活動に取り組んでいきます。その活動を通して、学校に慣れるとともに責任をもって自分の役割を果たすことを学んでいきます。1年生のやる気を引き出し、成長に導くために、担任をはじめ教職員が協力して指導していきます。各ご家庭でも温かく見守っていただくとともに、ご協力をお願いします。